

# 「品質管理レビューの概要」（冊子）に 関するアンケート結果

2023年10月



 日本公認会計士協会

# 「品質管理レビューの概要」（冊子）に関するアンケート結果

---

- I 目的

2023年度「品質管理レビューの概要」等の作成の参考とするために実施

- II 方法

上場会社（監査役等）、レビュー対象監査事務所及び協会関係学識者に対し、アンケート用紙を「品質管理レビューの概要」（冊子）に同封し郵送

公認会計士社外役員ネットワーク正会員（以下「CPA社外役員」という。）に対しては、メールにてアンケート協力を依頼

回答は、協会ウェブサイト、FAX、電子メールで提出

※ 8月下旬にアンケート協力の再依頼メールを配信

- III 提出期間

2023年7月1日から2023年8月31日まで

# 「品質管理レビューの概要」（冊子）に関するアンケート結果

## ● IV 対象及び回答数

アンケートの対象者及び対象者の種別ごとの回答数は、下表のとおりである。

※参考：昨年度

	発送数	回答数	回答率(%)		発送数	回答数	回答率(%)
上場会社（監査役等）	3,919	169	4.3		3,876	197	5.1
CPA社外役員	2,940	6	0.2		1,632	6	0.4
レビュー対象監査事務所	215	86	40.0		218	69	31.7
協会関係学識者	18	1	5.5		20	4	20.0
合計	7,092	262	3.7		5,746	276	4.8

# 「品質管理レビューの概要」（冊子）に関するアンケート結果

## ● V 回答方法

利用されたアンケートへの回答方法は、下表のとおりである。

	Web	メール	FAX
上場会社（監査役等）	161	5	3
CPA社外役員	6	0	0
レビュー対象監査事務所	84	1	1
協会関係学識者	1	0	0
合計	252	6	4

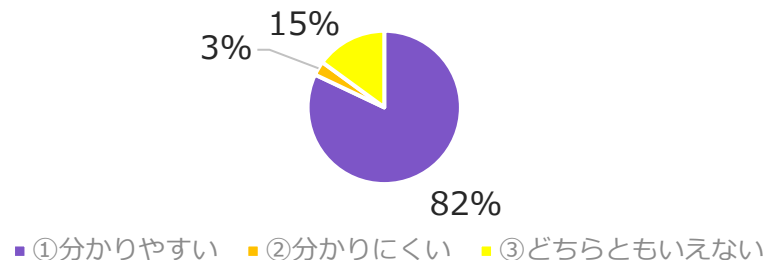
Q1 全体を通して、「本冊子」の記載内容は分かりやすいと思われたでしょうか。（共通質問項目）

選択肢	上場会社 (監査役等)	CPA社外役員	レビュー対象 監査事務所	協会関係 学識者
① 分かりやすい	137	4	80	1
② 分かりにくい	5	0	0	0
③ どちらともいえない	25	1	5	0
合計	167	5	85	1

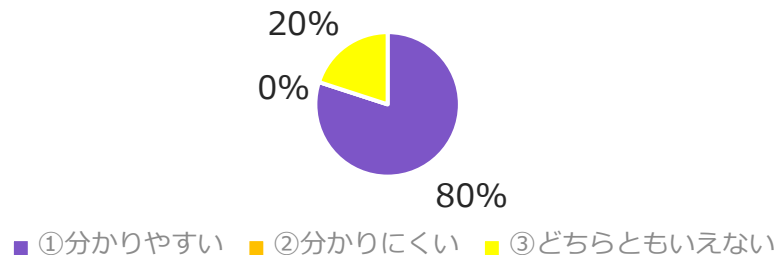
## VI アンケート項目

# Q1 全体を通して、「本冊子」の記載内容は分かりやすいと思われたでしょうか。（共通質問項目）

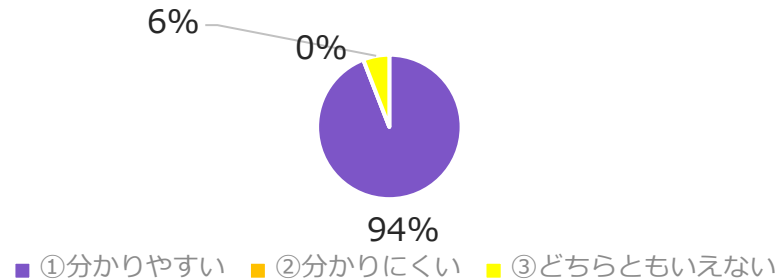
## 上場会社（監査役等）



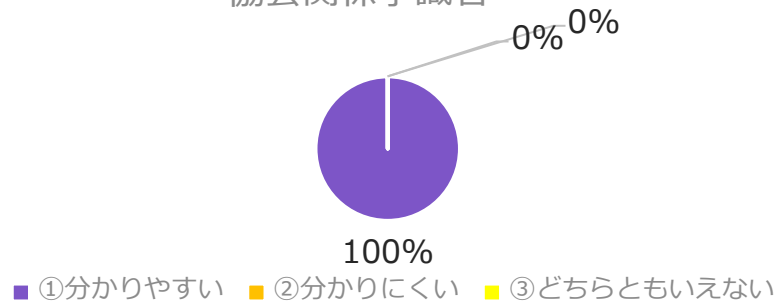
## CPA社外役員



## レビュー対象監査事務所



## 協会関係学識者



Q 1 全体を通して、「本冊子」の記載内容は分かりやすいと思われたでしょうか。（共通質問項目）

---

- 【総評】
- Q 1 について「分かりやすい」と回答した上場会社（監査役等）の割合は82.0%（137名中167名）、レビュー対象監査事務所の割合は94.1%（80名中85名）、CPA社外役員の割合は80.0%（4名中5名）であった。
- また、前年度「分かりやすい」と回答した上場会社（監査役等）の割合81.7%（197名中161名）、レビュー対象監査事務所の割合94.0%（69名中65名）、CPA社外役員の割合66.7%（6名中4名）についても微増していた。
- なお、「分かりにくい」と回答した割合は全体として低い一方で、「どちらともいえない」と回答した割合が全体で12%程度あった。



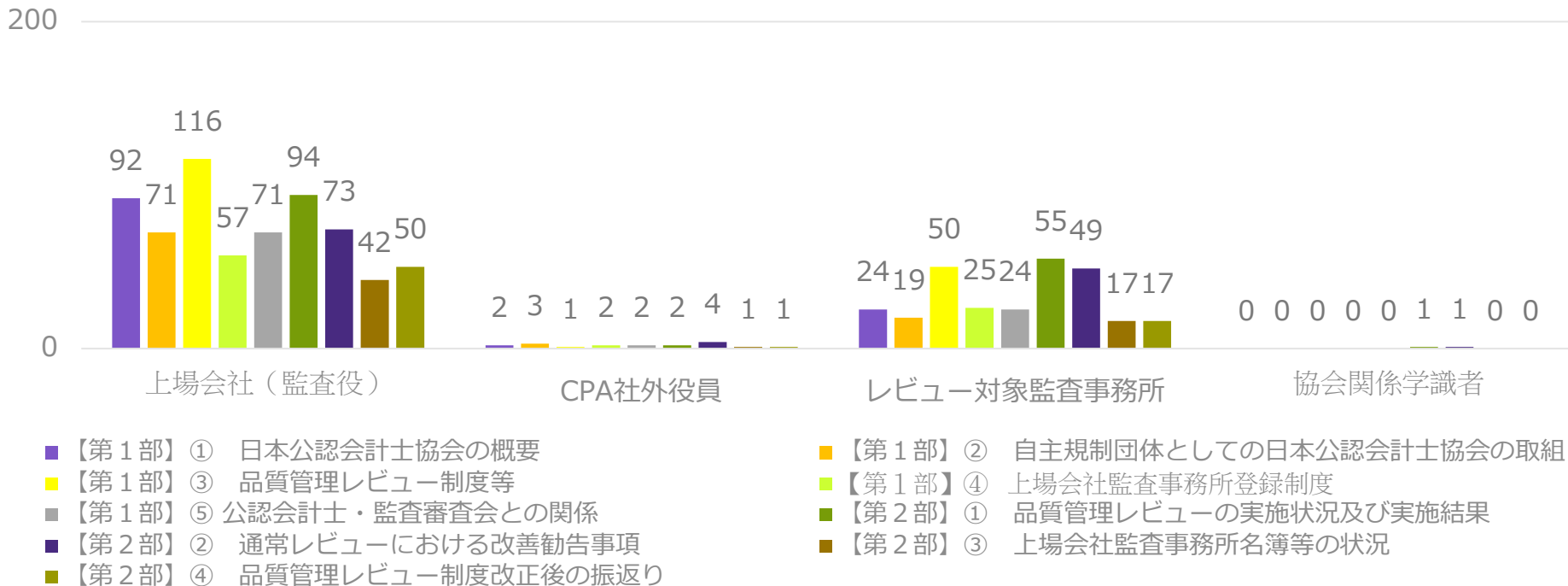
Q2 「本冊子」の記載のうち、特に、分かりやすいと思われた項目及び分かりにくいと思われた項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）（共通質問項目）

( )内の数字は回答率 ※各対象上位について分かりやすいを黄色に・分かりにくいを赤色に網掛け

選択肢	上場会社 (監査役等)		CPA社外役員		レビュー対象 監査事務所		協会関係学識者		
	分かり やすい	分かり にくい	分かり やすい	分かり にくい	分かり やすい	分かり にくい	分かり やすい	分かり にくい	
第一部	①日本公認会計士協会の概要	92 (92.9%)	7 (7.1%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	24 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	②自主規制団体としての日本公認会計士協会の取組	71 (84.5%)	13 (15.5%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	19 (86.4%)	3 (13.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	③品質管理レビュー制度等	116 (85.3%)	20 (14.7%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	50 (96.2%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
	④上場会社監査事務所登録制度	57 (77.0%)	17 (23.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	25 (73.5%)	9 (26.5%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
	⑤公認会計士・監査審査会との関係	71 (83.5%)	14 (16.5%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	24 (75.0%)	8 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
第二部	①品質管理レビューの実施状況及び実施結果	94 (77.0%)	28 (23.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	55 (93.2%)	4 (6.8%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
	②通常レビューにおける改善勧告事項	73 (73.0%)	27 (27.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	49 (90.7%)	5 (9.3%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
	③上場会社監査事務所名簿等の状況	42 (76.4%)	13 (23.6%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	17 (81.0%)	4 (19.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	④品質管理レビュー制度改正後の振返り	50 (72.5%)	19 (27.5%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	17 (73.9%)	6 (26.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	666 (80.8%)	158 (19.2%)	18 (90.0%)	2 (10.0%)	280 (87.2%)	41 (12.8%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	

Q2 「本冊子」の記載のうち、特に、分かりやすいと思われた項目及び分かりにくいと思われた項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）（共通質問項目）

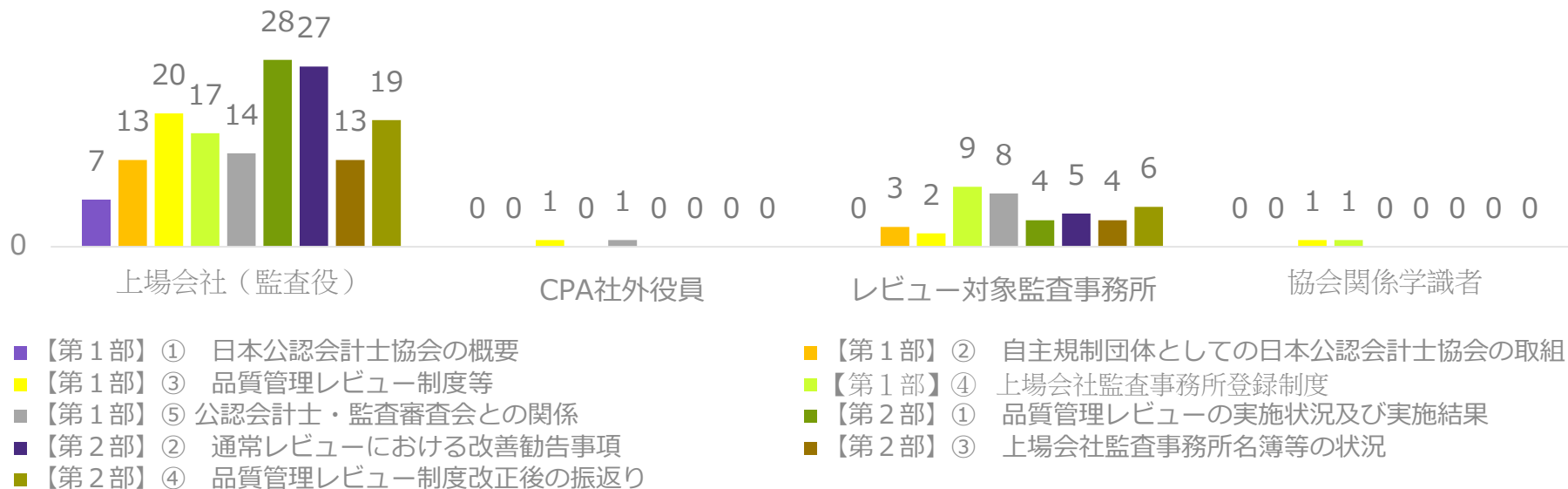
分かりやすいと思われた項目



Q2 「本冊子」の記載のうち、特に、分かりやすいと思われた項目及び分かりにくいと思われた項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）（共通質問項目）

分かりにくいと思われた項目

50



Q2 「本冊子」の記載のうち、特に、分かりやすいと思われた項目及び分かりにくいと思われた項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）（共通質問項目）

---

- 「分かりやすい」と評価された項目として、上場会社（監査役等）及びレビュー対象監査事務所からからは、第1部「③品質管理レビュー制度等」及び第2部「①品質管理レビューの実施状況及び実施結果」の項目において、特に高い割合を占めている。
- 一方、上場会社（監査役等）からは第2部「①品質管理レビューの実施状況及び実施結果」について、CPA社外役員及び協会関係学識者からは第1部「③品質管理レビュー制度等」について、レビュー対象監査事務所からは第1部「④上場会社監査事務所登録制度」について、一定数「分かりにくい」と評価されている。

Q2 「本冊子」の記載のうち、特に、分かりやすいと思われた項目及び分かりにくいと思われた項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）（共通質問項目）

● Q2 に対して寄せられた主なコメントは、以下のとおりである。

通番	Q2 に対して寄せられた主なコメント（レビュー対象監査事務所）
1	上場会社監査数別事務所の実施結果や改善勧告事項の生じた項目の事務所数推移の表が分かりやすいと感じました。
2	監査役等に説明する場合、協会と公認会計士・監査審査会との関係を説明するのが難しいと感じました。
3	品質管理レビュー制度の概要が、広く社会一般に伝わるようにわかりやすく纏められていると思います。公認会計士・監査審査会との関係においては、制度上の関係の概要説明に加えて相互連携の状況についても言及されており、実務者レベルでの検討会における議論のテーマの記載も、取組の状況を示す上で有益であると感じられました。

通番	Q2 に対して寄せられた主なコメント（協会関係学識者）
1	レビューの実施状況及び実施結果等が、分かりやすくビジュアル化されたグラフや表を交えて、具体的に報告されている点が、とくに印象に残りました。全体に関わることですが、図表等の配色が落ち着いた感じで、読みやすいデザインになっていたと思います。

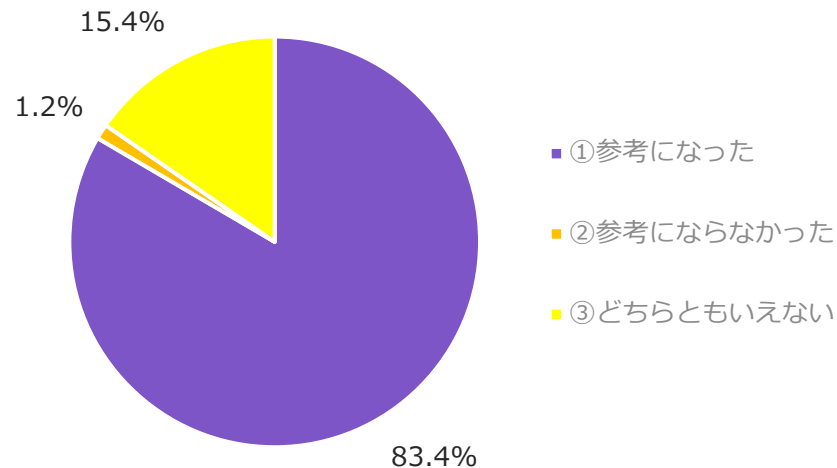
Q2 「本冊子」の記載のうち、特に、分かりやすいと思われた項目及び分かりにくいと思われた項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）（共通質問項目）

通番	Q2に対して寄せられた主なコメント（上場会社（監査役等））
1	通常レビューにおける改善勧告事項は、前年比較と数値・図解入りで解りやすいと感じました。
2	【第1部】③品質管理レビュー制度等のP.15 品質管理レビューにおけるレビュー手続きの流れは昨年度のように、審査部会・品質管理委員会に至るまでの流れを記載したほうが、全体の流れを理解しやすいと思います。
4	【第1部】③品質管理レビュー制度等のP.25 金融庁、公認会計士・監査審査会、監査事務所及び当協会の関係の関係図は、監査事務所監査チームを入れたことで昨年度よりもさらにわかりやすくなったと思います。
6	全体的な俯瞰や趨勢を分析するために、50ページを読むのは時間的に大変です。ポイントを絞ったエクゼクティブサマリーがあると便利だと思います。
7	注や但し書きのコメントが多く、頭にスッと入りにくい感じがしました。
8	文章だけでなく、表、グラフ等があったので、比較的分かりやすく、見やすかったと思います。

Q3 全体を通して、「本冊子」の記載内容は、会計監査人とのコミュニケーションに当たり、参考となりましたか。

■ 上場会社（監査役等）のみ質問項目

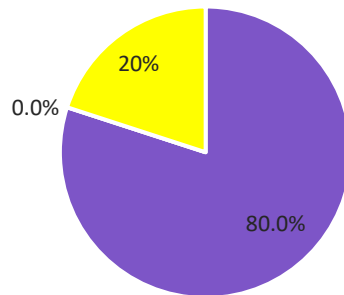
選択肢	上場会社 (監査役等)
①参考になった	141
②参考にならなかった	2
③どちらともいえない	26
合計	169



Q3 全体を通して、「本冊子」の記載内容は、品質管理レビュー制度の概要と結果の理解に当たり、参考となりましたか。

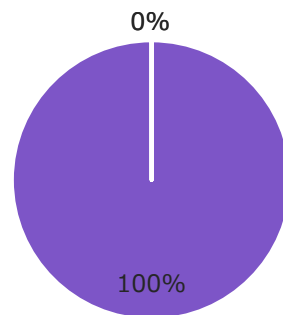
■ CPA社外役員・協会関係学識者への質問項目

選択肢	CPA社外役員	協会関係学識者
①参考になった	4	1
②参考にならなかった	0	0
③どちらともいえない	1	0
合計	5	1



CPA社外役員

- ①参考になった
- ②参考にならなかった
- ③どちらともいえない



協会関係学識者

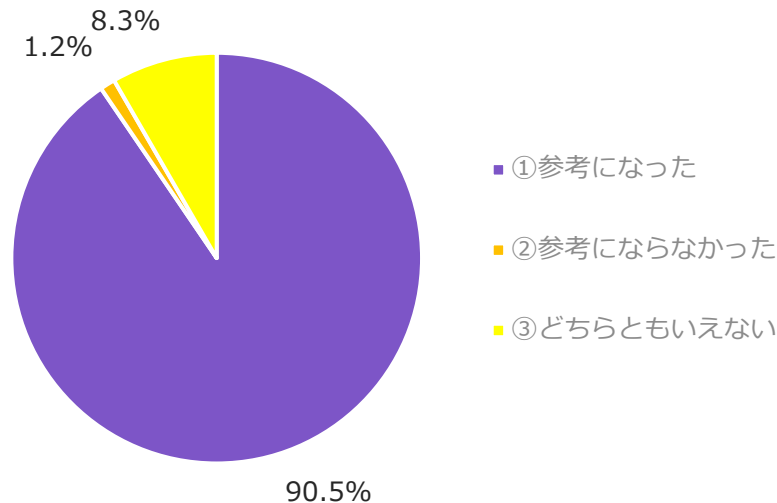
- ①参考になった
- ②参考にならなかった



Q3 全体を通して、「本冊子」の記載内容は、品質管理レビュー制度の理解及び監査役等とのコミュニケーションに当たり、参考となりましたか。

■ レビュー対象監査事務所のみ質問項目

選択肢	レビュー対象監査事務所
①参考になった	76
②参考にならなかった	1
③どちらともいえない	7
合計	84



Q 4 特に参考になった項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。  
(複数選択可)

---

### ■ 上場会社（監査役等）のみ質問項目

Q 4 会計監査人とのコミュニケーションに当たり、特に参考になった項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）

### ■ CPA社外役員・協会関係学識者への質問項目

Q 4 品質管理レビュー制度の概要と結果の理解に当たり、特に参考になった項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）

### ■ レビュー対象監査事務所のみ質問項目

Q 4 品質管理レビュー制度の理解及び監査役等とのコミュニケーションに当たり、特に参考になった項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）

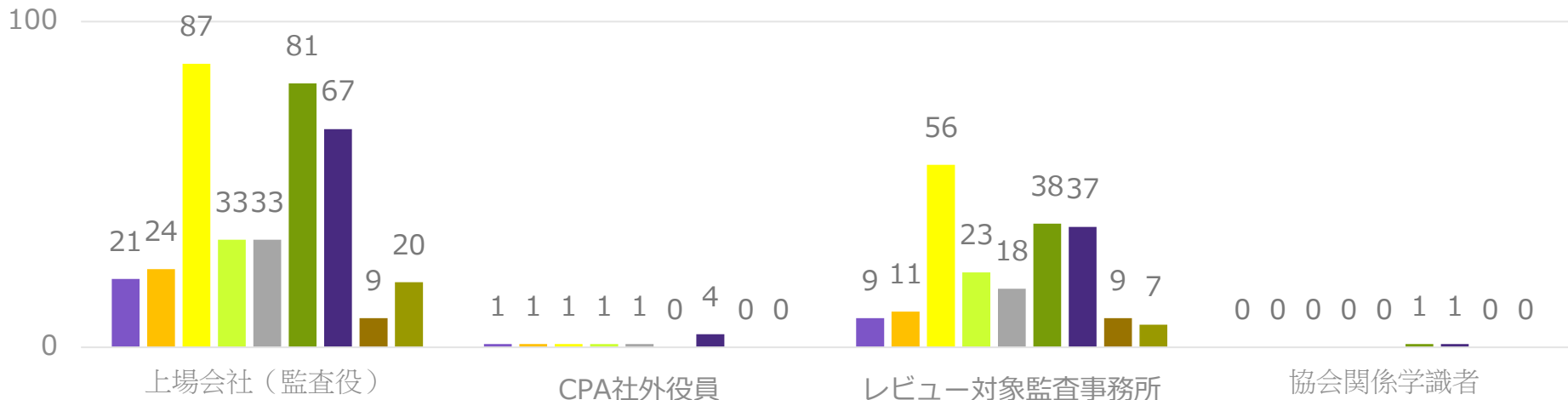
Q4 特に参考になった項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。  
(複数選択可)

※黄色の網掛けは、各対象者上位2位

選択肢		上場会社 (監査役等)	CPA 社外役員	レビュー対象 監査事務所	協会関係 学識者
第一部	①日本公認会計士協会について	21	1	9	0
	②自主規制団体としての日本公認会計士協会の取組	24	1	11	0
	③品質管理レビュー制度等	87	1	56	0
	④上場会社監査事務所登録制度	33	1	23	0
	⑤公認会計士・監査審査会との関係	33	1	18	0
第二部	①品質管理レビューの実施状況及び実施結果	81	0	38	1
	②通常レビューにおける改善勧告事項	67	4	37	1
	③上場会社監査事務所名簿等の状況	9	0	9	0
	④今後の行動計画	20	0	7	0
合計		375	9	208	2

Q4 特に参考になった項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。  
(複数選択可)

特に参考になった項目



- 【第1部】① 日本公認会計士協会の概要
- 【第1部】② 自主規制団体としての日本公認会計士協会の取組
- 【第1部】③ 品質管理レビュー制度等
- 【第1部】④ 上場会社監査事務所登録制度
- 【第1部】⑤ 公認会計士・監査審査会との関係
- 【第2部】① 品質管理レビューの実施状況及び実施結果
- 【第2部】② 通常レビューにおける改善勧告事項
- 【第2部】③ 上場会社監査事務所名簿等の状況
- 【第2部】④ 品質管理レビュー制度改正後の振返り

- 【第1部】② 自主規制団体としての日本公認会計士協会の取組
- 【第1部】④ 上場会社監査事務所登録制度
- 【第2部】① 品質管理レビューの実施状況及び実施結果
- 【第2部】③ 上場会社監査事務所名簿等の状況

Q 4 特に参考になった項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。  
(複数選択可)

---

- 上場会社（監査役等）は、第1部「③品質管理レビュー制度等」及び第2部「①品質管理レビューの実施状況及び実施結果」を、会計監査人とのコミュニケーションに当たり参考になった項目として挙げている。
- レビュー対象監査事務所においても、第1部「③品質管理レビュー制度等」及び第2部「①品質管理レビューの実施状況及び実施結果」を、品質管理レビュー制度の理解及び監査役等とのコミュニケーションに当たり、特に参考になった項目として挙げている。
- また、CPA社外役員及び協会関係学識者からは、第2部「②通常レビューにおける改善勧告事項」が特に参考となったと回答を得ている。

Q 4 特に参考になった項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。  
(複数選択可)

- Q 4 に対して寄せられた主なコメントは、以下のとおりである。

通番	Q 4 に対して寄せられた主なコメント（上場会社（監査役等））
1	自主規制モニター会議の位置づけが良くわかりません。
2	第一部 制度の概要で、前年度と変わった部分を赤字、赤枠等で表示する工夫があると良いと思います。
3	当社に対するKAM項目が顧問監査法人にとっても重点的に監査を受けていることがわかり、参考になりました。
4	J I C P Aによる品質管理レビューの結果は、会計監査人より適時適切に報告頂いていますが、制度の概要や結果をこのような冊子で提示頂けることで、自主規制としての制度の理解と会計監査人とのコミュニケーションに非常に役立つものです。

Q 4 特に参考になった項目は何ですか。該当する項目に○をご記載ください。  
(複数選択可)

通番	Q 4 に対して寄せられた主なコメント (レビュー対象監査事務所)
1	改善勧告事項の項目で記載されている内容が特に参考になりました。
2	当法人で協会レビューを受けた結果発生した指摘事項について、監査役等とのコミュニケーションで議論する際に、当該指摘が一般的発生しやすい指摘事項なのか否かを説明する際に参考になりました。
3	品質管理レビュー制度の概要がわかりやすく纏められているため、必要に応じて参照した上で実務においても活用しています。監査役等とのコミュニケーションに利用する131条通知書の法人用テンプレートにおいては、補足資料として品質管理レビュー制度の概要の纏めを添付していますが、作成の際に参考としています。

通番	Q 4 に対して寄せられた主なコメント (協会関係学識者)
1	制度の概要等はネット等である程度検索できますが、レビューが具体的にどのように実施されているかは、実務に携わっている専門家からの発信が、事実上、唯一の情報源となります。

## Q5 年次報告書（本冊子等）を作成し公表していますが、毎年度、読まれていますか。（共通質問項目）

なお、2022年度の年次報告書（本冊子等）が掲載されている協会ウェブサイトは次のURLとなります。

<https://jicpa.or.jp/about/activity/self-regulatory/quality/>

選択肢	上場会社 (監査役等)	CPA社外役員	レビュー対象 監査事務所	協会関係 学識者
① 毎年度、読んでいる	95	5	78	1
② 今年度、初めて読んだ	74	1	7	0
合 計	169	6	85	1



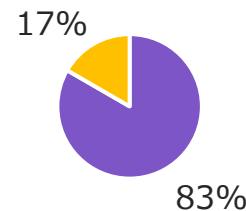
# Q5 年次報告書（本冊子等）を作成し公表していますが、毎年度、読まれていますか。（共通質問項目）

## 上場会社（監査役等）



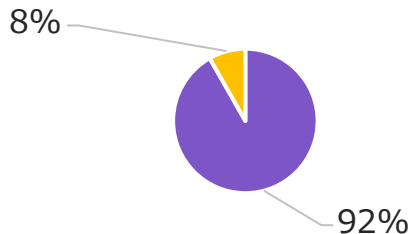
■ ①毎年度、読んでいる ■ ②今年度、初めて読んだ

## CPA社外役員



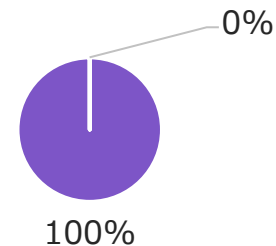
■ ①毎年度、読んでいる ■ ②今年度、初めて読んだ

## レビュー対象監査事務所



■ ①毎年度、読んでいる ■ ②今年度、初めて読んだ

## 協会関係学識者



■ ①分かりやすい ■ ②今年度、初めて読んだ

Q5 年次報告書（本冊子等）を作成し公表していますが、毎年度、読まれていますか。（共通質問項目）

---

- 「毎年度、読んでいる」と回答した上場会社（監査役等）の割合は56.2%（169名中95名）であり、昨年度から3.7ポイント減少しているものの一定の割合で年次報告書が読まれていることが分かった。
- レビュー対象監査事務所においては、「毎年度、読んでいる」と回答した割合が、91.8%（85名中78名）であり、年次報告書は認知されるとともに、レビュー制度の理解の一助となっていると推察される。

Q6 「本冊子」及びその補足資料として作成されている「2022年度 品質管理レビューの概要（資料編）」について、改善すべき点等、ご意見、ご要望があればご記載願います。（共通質問項目）

- 上場会社（監査役等）から23件、レビュー対象監査事務所から15件の意見、要望があった。
- 主な意見・要望は、以下のとおりである。

通番	コメント例（レビュー対象監査事務所）
1	毎年工夫がなされて、読みやすい構成になっていると思います。
2	図表を多用されており、わかりやすいものと考えます。 公認会計士・監査審査会の公表物と合わせると相当数のページとなるため、変更点・重要な点がわかるように工夫（エグゼクティブサマリーを作る等）されるとよいかと考えます。
3	新制度における判断基準（ガイドラインとの関係）、特に追加的に取り組みを要求される項目とその水準を監査役等が理解できるようにしてほしい。
4	資料編についても有益な情報が纏められており、特に品質管理部門においては外部検査等の現況把握及びステークホルダーとのコミュニケーションの前提情報として、必要に応じて参照しています。

Q6 「本冊子」及びその補足資料として作成されている「2022年度 品質管理レビューの概要（資料編）」について、改善すべき点等、ご意見、ご要望があればご記載願います。（共通質問項目）

通番	コメント例（上場会社（監査役等））
1	会計監査人とのコミュニケーションを行うにあたり、事前の知識を習得できる冊子として有用であると感じました。
2	会計監査人とのコミュニケーションの事例があるとより参考になると思います。
3	1 - 2 ページのサマリを作成していただけると、理解しやすいと思います。傾向値も分かるようにしていただけると助かります。
4	協会の取り組みが良く分かり、また、監査法人とのコミュニケーションにも役に立つ資料だと思います。
5	本冊子は、原則として前年実績と今年度の比較表だけになっている。過去からの実績のトレンドグラフがあれば、今年の状態が過去からほぼ維持された状態なのか、増加傾向にあるのか、減少傾向にあるのか判断できると思いました。
6	「品質管理レビュー」とは「こういうものだ！」と読ませていただきました。一つひとつの制度説明があるのだけれど、全体像がつかみづらかった。どちらかと言えば、会員向けの内容かもと感じました。
7	レビュー結果の数値データから時間の推移からの変化、特徴等、又、課題がある項目の変化についての考察があっても無いのではないのでしょうか。

